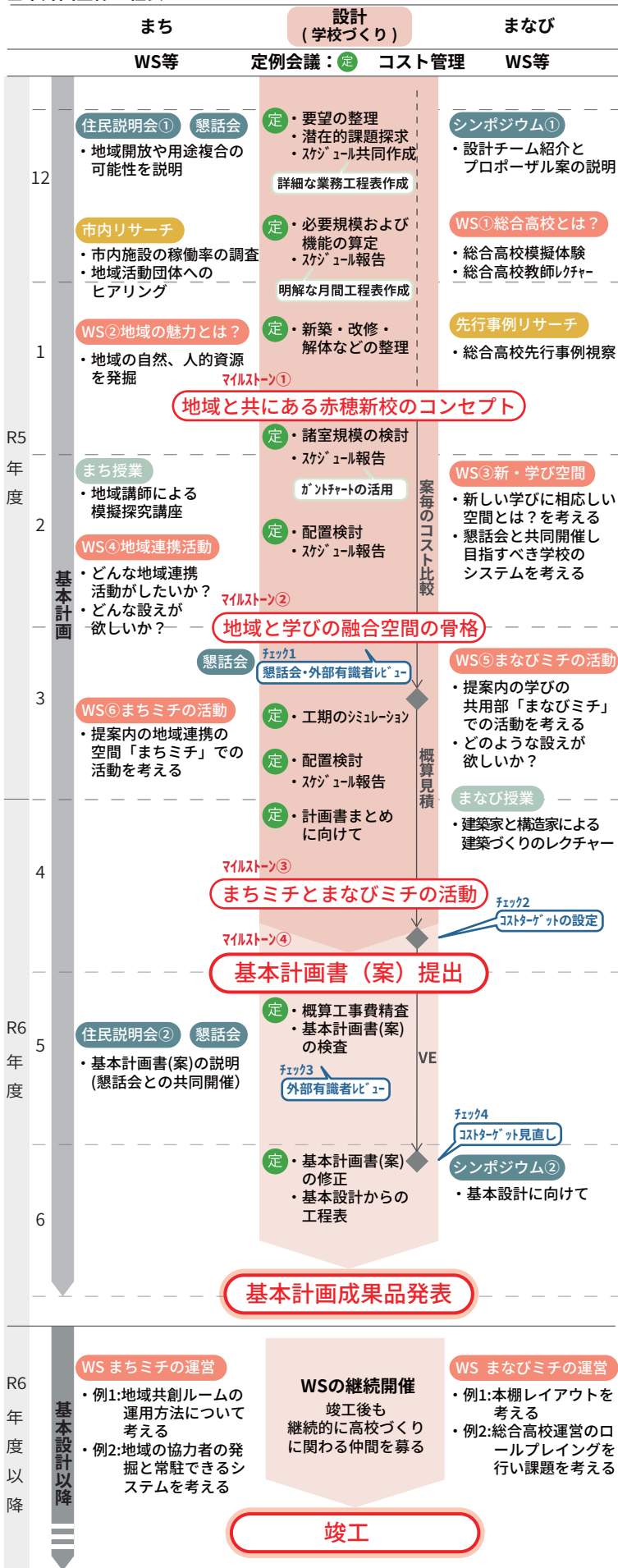


## まちとともに学ぶプロセスマネジメント

地域と学びを横断しつつ、フェーズごとに各テーマを明確に設定し、さまざまな関係者とともに計画を進めます。

基本計画全体工程表



### 先行事例リサーチ

既存施設の現況調査と、類似先進施設への視察を計画初期に実施し、既存建物の課題と新施設の目標設定や空間のイメージを共有します。視察は感染症の被害拡大など情勢次第では、勉強会での代替も検討します。



先進総合高校への視察

### まなび授業

設計チームの建築家や構造家により学校づくりに必要なプロセスや技術などの建築づくりのレクチャーを行います。大きな模型やイメージパースを用いて生徒の興味関心を高め、卒業後も赤穂新校の計画を語り広められる基盤を作ります。



専門家によるレクチャー

### まなびWS

市内の生涯学習整備状況や中学生の学習環境から、赤穂高校でのまなびの役割を考えたり、現代にふさわしいまなびの空間やICTが普及する必要な設備について考えます。WSで得た意見を元にまなびミチのゾーンングを作成し、情報を平面上に反映し課題を明確化します。また、並行して適正規模の検討と調整を行います。

### シンポジウム

基本計画の開始時期と終了時期に、学校関係者へのシンポジウムを行います。学校用のLINEなどSNSを併用し広く意見を募りつつ、生徒・教職員とディスカッションできる機会となることを期待します。

### 竣工までの学校との連携

教職員が総合高校の特殊なカリキュラムづくりや講義展開を知るための講座を開講し、総合高校を運営していくためのトレーニング期間を設けることを提案します。また、まなびミチの本の選定や本棚のレイアウトは、図書館司書に加えて赤穂高校生と共同して考えることを検討します。

### 市内リサーチ

市民活動や地域の企業といった多角的な視点からまちの特徴を調査します。また、近隣の文化諸施設や学校関係者へのヒアリングを実施します。

### まち授業

現在、商業科で地域講師によって実践されている“やっちゃえブライダル”のノウハウを生かし、新たな地域講師の発掘と模擬講座の実施を検討します。講座の頻度や時期の調整などの課題の解決を図りつつ、講師が長期的に携われるシステムを高校教職員の皆さんとともに同時に検討します。



“やっちゃえブライダル”の授業風景

### まちWS

高校内部のことだけでなく、まちの資源の発掘や具体的な連携方法、OBOGとの繋がりなども考えていきます。学校づくりへの関心を高め、多様な人が学校づくりを自分ごととして捉え、長期的に高校づくりに関わる仲間を集めます。



まちと施設について考える町民WS

### 住民説明会

基本計画書の完成時期に合わせて、近隣の住民に向けた説明会を実施します。敷地内の計画だけでなく、アクセス動線の変更や工事期間の懸念などを丁寧に説明し、早期から計画への理解を得ます。

### 懇話会

WSでの成果やリサーチ、ヒアリングの状況など、業務の進捗をまとめ議論します。業務を進める上での課題やNSDで目指すビジョンを共有します。

### 基本設計以降のまちとの連携

設計期間から既存校舎の一角に地域共創ルームの設置を検討します。計画初期から実践することで関係者を増やし、利用イメージを育みます。キーになる地域の協力者を発掘しつつ、地域共創ルームなどのまち教室の運営方法や、地域の人々が地域共創ルームに駐在できるようなシステムの構築を図ります。